

# 子規顕彰 全国俳句・短歌大会

入賞作品紹介

※□は複数の選者に選ばれた作品  
(掲載作品以外も含む)

正岡子規の業績を受け継ぎ、俳句・短歌の普及を図る「第54回子規顕彰全国俳句大会」が9月23日に、「第37回子規顕彰全国短歌大会」が10月27日に子規記念博物館で開催されました。全国俳句大会の募集句8,052句、当日句271句のうち特選46句を、全国短歌大会は1,504首のうち特選15首および特選15首から選ばれた上位賞、後援賞を紹介しします(敬称略)。

## 第54回 全国俳句大会

### 募集句特選二十五句

稲畑 汀子 選

新茶淹れ何も訊かざる母なりし  
三宅 久美子(香川県)

着ぶくれて昭和一桁生き延びる  
稲井 夏灯(西条市)

牡丹の散華掃かずに措く一と日  
長野 由子(西予市)

驚愕の祖母の青春夏休み  
神野 睦子(松山市)

子ら傍にただるだけで温かし  
徳井 春美(松山市)

上田 日差し 選

爽やかや子規の詠みたる城仰ぎ  
松井 憲一(秋田県)

春風のどこを切つても萌黄色  
小沢 芳治(愛知県)

帰省子と校歌の山河仰ぎけり  
篠原 みどり(松山市)

### 上位賞

文部科学大臣賞

「ロボットではありません」という  
認証をクリックするに不確かな自己  
相原 利沙(愛知県)

愛媛県知事賞

パブリカの花を見たいと言う孫に  
豊一枚の荒畑起こす  
山里 和代(長崎県)

松山市長賞

海亀の親子ゆらりと珊瑚礁の  
中より出でて珊瑚礁に入る  
壽美(広島県)

松山市教育長賞

しゃがみこみ歩きだしてはまたしゃ  
がむ夏の帽子にかくれるおさな  
若山 雅代(三重県)

### 後援賞

現代歌人協会子規記念賞

グーグルで検索したる我が家には  
剪定をする亡夫が写る  
尾崎 幸子(新居浜市)

日本歌人クラブ賞

憂ひるし食物連鎖プラごみの  
人体より検出されてをのく  
角田 三苗(神奈川県)

短歌研究社賞

出征の札が三枚貼つてある  
店じまいするうまい豆腐屋  
吉川 太郎(京都府)

「短歌」編集部賞

虫たちをたくさん服につけてきて  
夕立ちの後ろを歩いたでしょう  
仲村 一郎(東京都)

### 現代短歌社賞

殺したいヤツがいっぱいたけれど  
今は一人だった二人だ  
小橋 辰矢(岡山県)

特選十五首

憂ひるし食物連鎖プラごみの  
人体より検出されてをのく  
角田 三苗(神奈川県)

秋葉 四郎 選

水俣に竜の落し子あまた殖え  
命蘇る公害の海  
阿部 順子(今治市)

小学生の息子の絵日記百二冊  
今ライターを生業とする  
磯部 菊子(千葉県)

ペン買ふにの字連ねて美美子の忌  
向井 由利(今治市)

謎めくは釣瓶落しに老いること  
橋本 紀代子(松山市)

骨壺の底に水穴ある寒さ  
星加 鷹彦(広島県)

老犬を抱いて祭の端にをり  
横滝 友子(京都府)

渡邊 孤鷺 選

足指にゆるり泥入る田植かな  
竹見 かぐや(神奈川県)

焼茄子老戦友の妻と酌む  
板谷 繁(兵庫県)

情深きよだもをりぬ漱石忌  
越智 由霞(松山市)

花束の薔薇に涙をかくしけり  
菊池 共子(西予市)

掬はれて家の子となる金魚かな  
坂本 千恵子(松山市)

### 永田 和宏 選

虫たちをたくさん服につけてきて  
夕立ちの後ろを歩いたでしょう  
仲村 一郎(東京都)

望遠鏡の眼が塞ぐまで見つけよう  
ビルの隙間の父母の家  
山田 恵子(兵庫県)

しゃがみこみ歩きだしてはまたしゃ  
がむ夏の帽子にかくれるおさな  
若山 雅代(三重県)

坂井 修一 選

グーグルで検索したる我が家には  
剪定をする亡夫が写る  
尾崎 幸子(新居浜市)

一杯の水に噎ぶも子規忌かな  
黒田 清宏(松山市)

台風を恐れず子規に会ひに来し  
門田 安世(松山市)

稲畑 汀子 選

小鳥来る小鳥のやうな孫たちも  
高山 洋子(松山市)

後継ぎの白き歯並び今年米  
高須賀 経匡(松山市)

井戸水で今も米とく涼新た  
向井 初子(砥部町)

白桃は大きな真珠みずの詩  
好井 道子(松山市)

江崎 紀和子 選

片口の胴ふつくと星祭  
行本 奈智子(松山市)

### 中川 佐和子 選

パブリカの花を見たいと言う孫に  
豊一枚の荒畑起こす  
山里 和代(長崎県)

竹林の七賢の絵にある琴と知りて  
聞き入る古琴の音色  
村松 とし子(三重県)

「ロボットではありません」という  
認証をクリックするに不確かな自己  
相原 利沙(愛知県)

福谷 俊子 選

これから遊び上手になりましょう  
カモミールの花チキンに添えて  
好井 晶子(香川県)

あつてなき秩序道なき世原  
宍野 宏治(松山市)

糸瓜忌の山のきはまで青き空  
山中 清子(大洲市)

渡邊 孤鷺 選

山車に酒ぶきかけてより荒ぶれり  
池川 紀子(東温市)

道ならぬ恋かも知れぬ落し文  
近藤 洋子(東温市)

賞罰のなし年重ね頼祭忌  
菅 正子(西条市)

木下 節子 選

ソックスを丸め足湯や秋の雲  
あいむ李景(今治市)

長男の顔でありけり墓参  
渡部 美恵子(松山市)

台風の腋下潜り着陸す  
月城 花風(東京都)

### 片上 雅仁 選

海亀の親子ゆらりと珊瑚礁の  
中より出でて珊瑚礁に入る  
壽美(広島県)

一粒の重さ集まり今年米  
戒能 すみ子(松山市)

蕾もて土を割りけり彼岸花  
日野 淳子(西条市)

音もなく猫の出でゆく野分あと  
岡本 典子(松山市)

唯一人殺すな百度石灼けて  
青木 治敏(松山市)

ブルーサルビア絵心のふるへつつ  
園田 志保(伊予市)

山車に酒ぶきかけてより荒ぶれり  
池川 紀子(東温市)

横田 青天子 選

山車に酒ぶきかけてより荒ぶれり  
池川 紀子(東温市)

ブルーサルビア絵心のふるへつつ  
園田 志保(伊予市)

唯一人殺すな百度石灼けて  
青木 治敏(松山市)

横田 青天子 選

一粒の重さ集まり今年米  
戒能 すみ子(松山市)

蕾もて土を割りけり彼岸花  
日野 淳子(西条市)

音もなく猫の出でゆく野分あと  
岡本 典子(松山市)

